

4章 太陽系と銀河系

(1) 太陽のすがた

太陽

…地球から一番近い恒星。高温の気体からできている。主成分は水素とヘリウム。

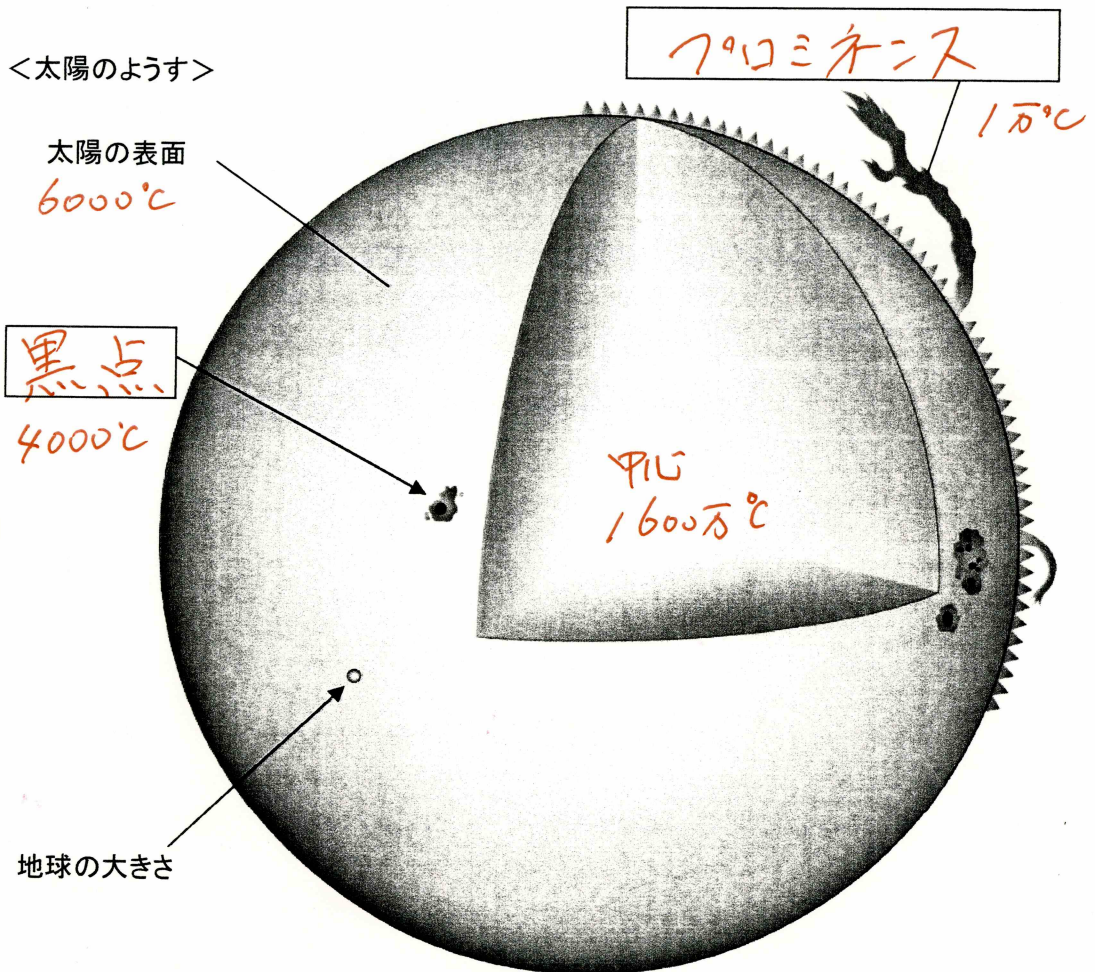
水素の核融合により莫大なエネルギーを生み宇宙空間に放出し続けている。

直径: 約140万 km (地球の約 **109** 倍)

質量: 地球の約 **33万** 倍 (太陽系全質量の99.86%を占める)

地球からの距離: 約1億5千万km。(光速で8分19秒の距離)

<太陽のようす>



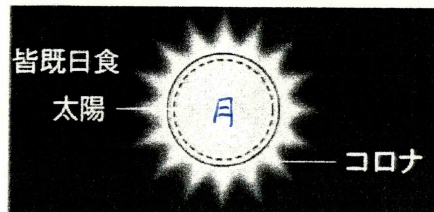
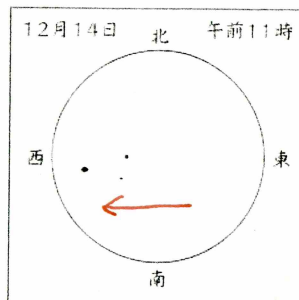
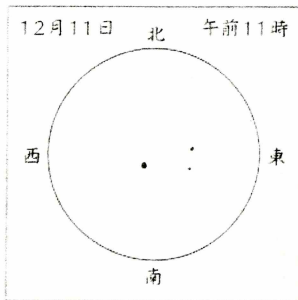
黒点

…周囲よりも温度が低い(4000℃)に黒く見えるところ。

太陽の活動が活動が盛んなほど多くなる。

黒点は地球から見て 東 から 西 へ動いているように見える。

⇒太陽が 自転している から。(自転の向きは 西から東)
(地球と同じ)



コロナ

…太陽の外側に広がる100万℃以上の高温で希薄なガス。

皆既日食のときに見られる。

プロミネンス (紅炎)

…太陽の表面にのびる約10000℃の高温の濃いガス。